

吉野川みずべ情報誌

川流

KA WA

KA TSU

特集

「吉野川のかなめ」池田ダムの運用と役割

インタビュー

アジアウェイクボード協会会長 薄田 克彦さん

～ウェイクボード 吉野川の池田ダムでなぜ世界大会？～

トピックス

- ・銅山川で環境改善のための放流を実施
- ・吉野川上下流交流大会が開催されました

イベントのお知らせ

さくらスポット紹介

No.3

2018.1

特集

「吉野川のかなめ」 池田ダム^{いけだ}の運用と役割



池田ダムと池田発電所



吉野川のかなめ（池田ダムの碑）



池田ダムから下流への配水

「吉野川のかなめ」池田ダム

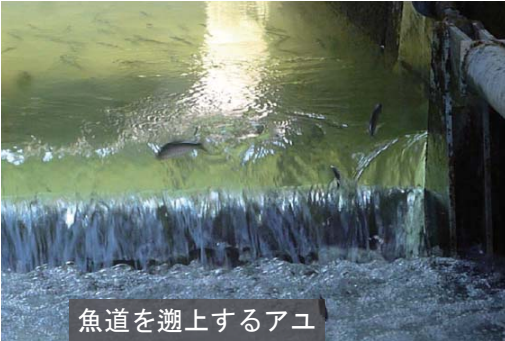
池田ダムは、全国屈指の大河川であり流域面積（3750 km²）が四国全体の約20%を占める吉野川の中流域に位置する高さ24mのダムです。

この池田ダムは、「吉野川のかなめ」とも呼ばれています。その理由は、池田ダム貯水池に「香川用水の取水口」、「吉野川北岸用水の取水口」および「三好市上水の取水塔」があり、徳島県や香川県に水を安定供給するとともに、発電を通して、四国地方の産業発展及び生活の向上に重要な役割を担っているためです。

河口から約80kmの地点に位置する池田ダムが、さらに約50km上流に位置する「四国のいのち」と呼ばれる早明浦ダムと連携し、きめ細かな水位や流量の管理を行っていることについて少し解説します。

24時間体制でダムを管理

池田ダム地点において、徳島県や香川県に安定して水を供給するため、上流から自然に流れ込む水量だけでは不足する場合、その不足分は早明浦ダムに蓄えている水から補給することとなります。この補給する水量は、早明浦ダムから池田ダムまで水が到達する時間も考慮し、約半日前には連絡する必要があります。また雨が降ると、河川に流れ込む水量は増加するため、早明浦ダム



魚道を遡上するアユ



魚道

発電所

発電放流

アユ遡上の呼び水となる発電放流



右岸



左岸

池田ダムの脇に設置されている魚道施設



防災フェアでのダムの役割・効果の説明



環境学習会での稚アユの放流



水源巡りの旅(香川県内中学校対象)

地域との関わり

池田ダムでは毎年、香川県が主催する「香川用水の水源巡りの旅」において、多くの中学生を迎え、水資源開発施設の役割などの説明を通して、貴重な水資源についての理解を深めていただいています。

また、地元漁業協同組合の協力のもと、近隣の小学生を招き稚アユの放流や

に貯めた貴重な水を無駄にしないよう早明浦ダムからの補給量を減らしま
す。
池田ダムよりも上流には、祖谷川の三
縄発電所や銅山川の伊予川発電所など
の水力発電用施設もあり、発電所を管
理する四国電力(株)とも調整しなが
ら、早明浦ダムから補給する水量が妥
当な量となっているか確認しています。
そのため、職員が交替で、お盆や正月
も含め365日、24時間体制で流域内の雨
量計や吉野川の水位計を監視し、細心
の注意を払いながら管理しています。

池田ダムの魚道施設

池田ダムには魚道施設が併設されてい
ます。この魚道には一定の水量が常に流
れるよう工夫されています。隣にある池
田発電所の放水口からの放流水が呼び
水となり、春から夏にかけてたくさん
のアユが魚道の入り口を見つけて上流へ
遡上していきます。

より良い管理に向けて

吉野川の生態系などを学ぶ「環境学習
会」を開催しています。
さらに、例年夏に三好市が主催する
「防災フェア」に参加し、洪水時に果たす
ダムの役割などについて地域住民の方々
に説明し、楽しみながら防災について学
んでいただいています。

池田ダムでは、河川環境の保全のため
の流量を確保し、下流沿川の取水を安
定化させ、香川用水や吉野川北岸用
水、三好市上水による農業用水や水道
用水などを安定供給してきました。ま
た、発電を通して、四国地方の産業発
展および生活の向上に重要な役割を
担ってきました。

今後も引き続き、「四国のいのち」と
「吉野川のかなめ」が連携し、四国4県の
経済活動や市民生活を支えられるよ
う、適確な管理に努めて参ります。

ちょっとまめちしき

遡上しようとする魚は、水が流
れてくる方向に泳ごうとする習性
があり、水の流れが強いところを
感知して集まってきます。
この習性を利用し、広い河川で
魚道の入り口を見つけやすくさせ
るために魚道の近くに流す水を
「呼び水」と言います。



インタビュー

ウエイクボード

吉野川の池田ダムで

なぜ世界大会？



写真提供：ウエイクボード世界選手権大会実行委員会

池田湖でウエイクボードを練習するキッズ。池田ダムが、ウエイクボードに最適な波のない静かな水面を作り出している。

この方に聞きました

アジアウエイクボード協会 会長
世界ウエイクボード協会 副会長
三好市地域おこし協力隊
みよし すすきた かつひこ
薄田 克彦 さん



平成29年4月から家族で三好市に移住された薄田さん。ウエイクボードに出会ってから約30年間、ウエイクボードの普及活動に尽力し、プロデュースした大会は400を超える。来夏のウエイクボード世界選手権の大会招致の中心となった方で、これから三好市をまるごと観光地にしたいと大きな夢を描いている。

平成30年夏 ウエイクボード世界選手権大会2018 池田湖で開催！

平成30年8月30日～9月2日に、池田湖にてウエイクボード世界選手権大会がアジアで初めて開催されます。ウエイクボードは、アメリカで発祥したスポーツで、モーターボートにつなげたロープを持ち、スノーボードのような板に乗って水面を滑り、ウエイク(=ボート走行時にできる引き波)を台にしてジャンプ等の技を競うスポーツです。



ウエイクボード世界選手権大会2018のポスター

ウエイクボードとの出会い

私は、20代後半にウエイクボードと出会いました。琵琶湖で遊ぶための船を購入したとき、販売会社の青年に、アメリカから取り入れたばかりのウエイクボードも紹介されたことがきっかけでした。

しかし、私は17歳の時に友人の運転する車で交通事故に遭い、一命は取り留めたものの左腕を動かせない障害を負っています。そのため、当初は友人にウエイクボードを薦めたり見ている程度でした。逆に薦められることもありましたが、片手でできるわけがないとあきらめていました。ですが、「あきらめてばかりでは

人生何もできないぞ。」と言われて、「じゃあ、できないところを見せてやる。」と腹を立て、実際にやって見せたのが始まりです。最初は、やる気もなかったのですが、当然、水面に立つこともできませんでしたが、水に入ったときの爽快感もあり、それから1か月は、右手の豆が一直線に並ぶほど、毎日練習にのめり込みました。初めて水面に立てたときには、友人たちも喜んでくれ、あのとときの感動は今でも忘れられません。

左腕の怪我のこともあり、その頃は心がすさんでいたと思いますが、ウエイクボードとの出会いで人生が変わったと思います。

ウエイクボードの普及活動

ウエイクボードに出会った当時はいわゆるバブル期でしたが、それが崩壊した時、私が経営していた不動産業は大きく傾きました。同時に、ウエイクボードを紹介してくれた青年のボート会社は倒産し、「もう、ウエイクボードを教えることができなくなった。」と伝えられました。私は、人生を救ってくれたウエイクボードへの恩を感じていたので、最後の財産をなげうって船を買い、その青年と一緒に日本中を周ってウエイクボードを広めようと決意しました。

その頃の日本では、ウエイクボードを知る人は少なく、「船が必要になるスポーツが流行るわけがない。」とも言われていました。そんな中、日本ウォーターボード※連盟(※当時の

ウエイクボードの別名)を数名で立ち上げ、大会を開催しながら、普及活動が続けました。湘南にある岩城混一さん(俳優)のジェットスキーの店に、ウエイクボードを紹介する手紙を書いたこともありです。

今では、お台場で開催したイベントには2日で約8万人が集まるほか、レジャースポーツとして約80万人が楽しむスポーツになっています。ウエイクボードは難しいと思われるがちですが、たいていは初めてでも水面に立つことができます。

また、船やボードがなくても、気軽にウエイクボードを体験できる場所も多くできてきました。池田湖でも、誰でも簡単に、安全に体験できる環境を、これから少しずつ整えていきたいです。

池田湖の魅力

ウエイクボードは琵琶湖のような大きな湖や河口でするイメージがありますが、実は、波のない静かな水面が最適なんです。ウエイクボード業界では、そんな静かな水面を「イケメン」と呼びます。琵琶湖のような大きな湖では波が立つので、練習しようとしてもできない日もあります。その点、池田湖は両側が山で囲まれているためか、風が少なく、毎日イケメンです。私も、平成27年の秋に知人の紹介で初めて池田湖を知り、「こんなに水がきれい、水面も穏やかな場所があるんや。なのに誰も湖面で遊んでいないなんてもったいない。」と思いました。

池田湖の水は透き通るようなきれいで、水面に周りの美しい景色が

映り込みます。ウエイクボード大会に必要な水深(約3.5m以上)や、スペース(長さ300×400m以上×幅150×200m以上)も十分にありま。

また、池田湖で大会を開催すれば、高速道路のインターチェンジから近くアクセスが良い上に、湖面の近くから観戦できます。日本国内には、ウエイクボードができるダム湖が他にもありますが、観戦できる場所が湖面と離れている場合が多いです。

池田湖は、ウエイクボードをしている人から見れば、日本一のイケメンです。世界大会の開催場所としても、これ以上のすばらしい場所はないと思います。まさしくウォータースポーツスタジアムといっても過言ではありません。



写真提供：アジアウエイクボード協会

池田湖で開催されたアジア大会での韓国の選手のジャンプの様子。



写真提供：アジアウエイクボード協会

池田湖の水面には周りの美しい景色が映り込む。



写真提供：アジアウエイクボード協会

平成29年7月28～29日に池田湖で開催されたアジア大会の開会式。

スポーツの力で 地域も人も活性化

ウエイクボードの普及活動を続けるうち、イベント時には多くの人が集まったも、イベントが終われば日常に戻る光景を見て、「普及とは何だろう？」と考えるようになりました。今は、スポーツの力で地域を発展させることが本当の普及だと考えています。そして、その実現を私の終活の目標にしています。

池田湖での世界大会を終えた後も、吉野川や池田湖を市民のための水の体育館、そして、観光資源にして、三好市に多くの人を集めたいです。描く夢は、「三好市まるごと観光地構想」です。吉野川では、静水面で楽しむウエイクボードだけでなく、激流で行うラフティングもできます。同じ市内で両方の世界大会を開催できる場所は、世界中探しても三好市だけだと思います。これらのアウトドアスポーツと連携し、より多くの方に吉野川に来ていただけるようなシステムを構築したいです。そうすれば、新たなビジネスチャンスや雇用が生まれ、地域が活気付くと思います。これは簡単なことではないですが、だからこそそやりがいを感じています。

その第一歩として、ウエイクボードの世界大会が開催されますが、大会後も吉野川や池田湖の素晴らしさを世界に発信していくためには、まず、市民の方々に吉野川の良さを知っ

てもらわなければならないです。

そこで、昨年の夏に開催したウエイクボードのアジア大会後に、市民の方々に水辺の楽しさを実感していただくイベントを開催しました。そのとき、「川に入ったのは何年ぶりだろう。気持ちいい。」との感想が印象的でした。確かに安全面への配慮は必要ですが、ウォータースポーツは大人から子供まで楽しめます。

また、市内に住む7〜12歳の男女12人を、将来のウエイクボードの世界大会出場を目指すウォーターキッズ「イケダコイレブン」として選びました。応募していただいた12人全員を選んだので、イレブンですが12人です。

私の息子も小さなころからウエイクボードの世界プロを目指していました。今はアメリカの大学院に進学し、ウエイクボードは趣味になっていますが、世界に目を向けるきっかけになりました。英語を真剣に勉強し始めたのも、ウエイクボードの世界プロになるために必要なものだからと考えるのこのようです。

私の人生は面白く、「あきらめる生徒」から「あきらめない生徒」になり、先日は三好市内の井川中学校で「あきらめない先生」をさせていただきました。子供たちには、ウエイクボードなどのスポーツを通じて、あきらめない心を学ぶとともに世界を見て欲しいと思います。



写真提供：ウエイクボード世界選手権大会実行委員会

池田湖で開催されたウエイクボードアジアシリーズの翌日イベントにて、バナナボートに乗って楽しむ地元の方々(左)。ウエイクボードを練習するイケダコイレブンのキッズ(右)。



池田ダムから望む池田湖
貯水の変動は少なく、穏やかな水面が広がる。

ウエイクボード世界選手権大会2018開催予定会場



写真提供：ウエイクボード世界選手権大会実行委員会

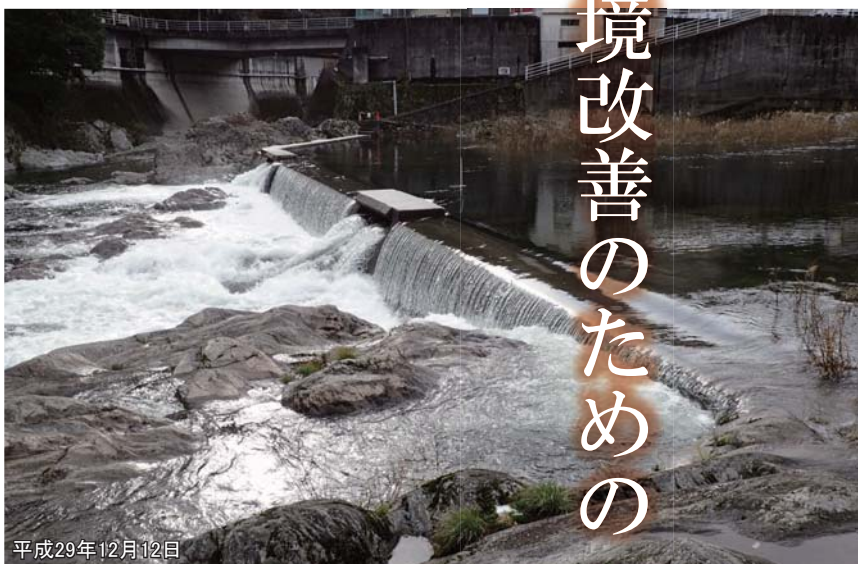
将来の世界選手権出場を目指すウォーターキッズ「イケダコイレブン」。昭和49年の春の甲子園にて、11人で準優勝を果たした池田高校野球部「さわやかイレブン」にちなんで命名。

トピックス

銅山川で環境改善のための放流を実施



平成29年12月11日



平成29年12月12日

宮川堰(新宮バス停付近)の放流前と放流中の様子。放流中は毎秒10m³が流れる。

銅山川ダム群の弾力的管理

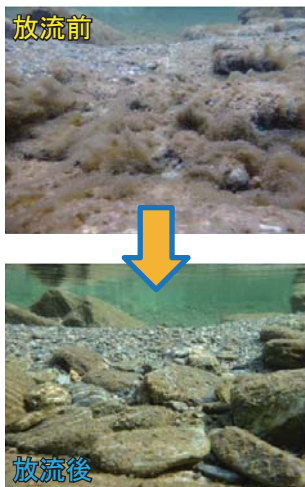
吉野川の支川である銅山川には富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダムの3つのダムが平成13年までに完成しました。これにより、水不足に悩んでいた瀬戸内側では安定して水を使えるようになりました。その一方ダム下流では川の水量が減少し、河川環境の悪化が問題となってきました。そこで、平成10年に「銅山川の河川環境を考える懇談会」を設立し、河川環境の改善策について協議を積み重ねてきました。

平成22年からは、台風などの洪水直後に通常より余分に水を貯めておき、新宮ダム下流の河川環境の保全のために放流する「弾力的管理」を実施してい

ます。

弾力的管理によるダムからの放流は、フラッシュ放流(多くの水を短時間放流する方法)と、フラット放流(少ない水を長時間放流する方法)があります。平成22年から27年にかけて地元の方々に現地でアンケートも行いながら社会実験を8回実施し、図に示す観測地点6箇所において河川状況を調査しその効果を確認しました。

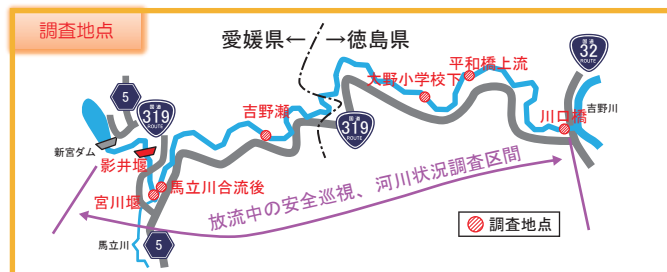
ダム下流の河川環境を改善する為に普段より放流量を増やすことを**弾力的管理**というんだよ。



馬立川合流後地点(水際)の川の中の様子

弾力的管理による環境改善効果

平成22年から27年にかけて様々なパターンで放流を行った結果、最大放流量を毎秒10.0m³としてフラッシュ放流することとで、水際に繁茂していた藻類が明らかに減少し、河床の汚れなどを洗い流す効果が最もあることが確認できました。今後も適切に弾力的管理を行い、銅山川の環境改善に努めていきます。



これまでに実施した社会実験				これまでに実施した試行運用	
第1回	平成22年 8月	第5回	平成25年 1月	平成27年11月	
第2回	平成23年 8月	第6回	平成26年 1月	平成28年11月	
第3回	平成23年10月	第7回	平成26年11月	平成29年12月	
第4回	平成24年 8月	第8回	平成27年 1月		

ちょっとまめちしき

ダムと堰の違いをご存じですか？
ダムといえ水^{せき}をせき止めたり、水を貯めたり補給したりする役割を持っています。堰も同じです。違いは高さです。
高さが15m以上のものをダム、15m未満のものを堰と呼んでいます。

※ダムや堰の高さとは、地面の下に埋まっている構造物の底の部分から一番上の部分までの高さをさします。



平成29年12月12日の様子

今年度の弾力的管理

今年度は平成29年12月12日(火)に放流を行いました。当日は上流の宮川堰から順を追って、各地点の状況確認および安全確認の巡回を行いました。詳しい状況や各地点の調査結果は、ホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

◆四国4県から集い、
森林整備(伐採作業)を体験◆



▲早明浦ダム湖畔林にて記念撮影

◆吉野川上下流交流大会が開催されました◆

吉野川上下流交流大会とは…？

「受益地域(吉野川下流域)の方々には水の源(吉野川上流域)を訪れていただき、「森林整備(伐採作業)体験」や「ダム見学」を通じ、水資源の有限性や水資源施設、水源林の重要性について考え、地元の方々と交流を図り、さらには水源地域に対する理解を深めることを目的に毎年開催しています。

さめうら

早明浦ダム湖畔林に四国4県から、約80名の応募いただいた方々が集い、参加しました。

- ①早明浦ダム見学→森林整備体験
- ②森林整備体験→早明浦ダム見学の二班に分かれて行いました。

11月19日(日)

10:00

開 会 式



10:20

～森林整備(伐採作業)体験～



地元の本山町森林組合の方々から木の伐採の仕方やのこぎりの使い方などの指導をしていただき、みんなで協力しながら伐採の作業を体験しました。



伐採した木を使い、自分たちでコースターなどを作製して記念品として持ち帰っていただきました。

12:45

13:00

～本山町産業文化祭会場散策～



土佐あかうしの牛串やおそばなど地元特産品を食べたり、地元の小学生が書いた絵や生け花などの展示品の鑑賞・お茶席の体験など、貴重な時間を過ごし、楽しく交流を図りました。



15:20

より良い水源地域創造のため今後も関係機関の方々と連携し、
吉野川上下流の交流がより一層促進されるよう
本交流大会も継続して実施して参ります。



～早明浦ダム見学～

▲ダムの中

▲クリスマスリース作り

▼餅投げ大会





写真提供: 阿波池田商工会議所



写真提供: 三好市



写真提供: 土佐町

地蔵寺アメゴ・マス釣り大会《3月下旬》

地蔵寺川でアメゴやマス釣りを楽しめるほか、ふるさと市・うどん・すしの販売などの催し物も行っていきます。

所 地蔵寺ふれあい公園 上流300m～下流300m
(高知県土佐郡土佐町)

交 JR土讃線の大杉駅から車で約30分

問 土佐町役場産業振興課 TEL: 0887-82-2450

四国酒まつり《2月24日(土)》

清流吉野川の水で作られた三好市の地酒の他、四国各地の銘酒の飲み比べもできます。また、三好市近隣の美味しい食品や雑貨を販売する「うだつマルシェ」などもあり、お酒を飲めない方でも楽しめます。

所 三好市内各所(徳島県三好市)

交 地酒試飲会場(サンライズビル)はJR土讃線の阿波池田駅より徒歩で約3分

問 阿波池田商工会議所 TEL: 0883-72-0143

塩塚高原野焼き《4月第1土曜日》

徳島県と愛媛県の県境にある塩塚高原で行われる春の恒例行事。多くの見物客が見惚れるオレンジ色の炎が描く絵模様は圧巻です。

所 塩塚高原展望台付近(徳島県三好市山城町)

交 JR土讃線の阿波川口駅より車で約60分

問 三好市観光課 TEL: 0883-72-7620



写真提供: 四国中央市観光協会

翠波高原 菜の花まつり《4月中旬》

辺り一面を染める菜の花のほか、まつり当日は音楽ライブなどのステージイベントやバザーなどが催され、家族連れや行楽客でにぎわいます。

所 翠波高原(愛媛県四国中央市金砂町)

交 JR予讃線の伊予三島駅から車で約25分

問 四国中央市役所観光交通課 TEL: 0896-28-6187

ちょっとよりみち

道の駅 大杉



【住所】 高知県長岡郡大豊町杉743-1

【問合せ先】 0887-72-1417

【営業時間】 8:00～17:00
(駐車場・トイレ・電話は24時間)

【定休日】 年中無休

【アクセス】 JR土讃線の大杉駅から車で約5分

国道32号沿いにある「道の駅大杉」は、町内外の観光情報の発信地であり、大豊名物「立川そば」の他、特産品である「大豊の碁石茶」、「柚子加工品」、「銀不老豆」を使用した銀不老ロールケーキや銀不老大福など各種お土産も販売しています。

大豊町のパワースポット!

道の駅大杉の近くにある「杉の大杉」は、国の天然記念物に指定されている推定樹齢3000年以上の巨木です。二つの杉が根元でつながっている事から、別名「夫婦杉」とも呼ばれています。また、この大杉は多くの異名を持ち、故美空ひばりさんが幼少期に訪れた際、この大杉に日本一の歌手になれるようにと祈願し成就した事から、「出世杉」とも呼ばれています。その縁で、美空ひばりさんの歌碑と遺影碑などもあり、人気の観光地となっています。皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。



美空ひばりさんの歌碑



杉の大杉

【入場料】 大人200円
小人100円
【営業時間】 ・4月～9月 8:00～18:00
・10月～3月 8:30～17:00
【定休日】 1月1日



写真提供: 本山町

もとやま花まつり《3月下旬～5月上旬》

町内各公園で桜、シャクナゲ、ツツジなど春の花が迎える時期に開催されます。休日には出店や祭事も行われ、町内外から多くの花見客が訪れます。

所 本山町内各公園(高知県長岡郡本山町)

交 JR土讃線の大杉駅から車で約20分

問 本山町役場まちづくり推進課

TEL: 0887-76-3916

4月～5月

さくら
スポット紹介

桜の季節がやってくる！
今年は吉野川流域で
とっておきの休日を。

写真提供：大豊町

大豊町

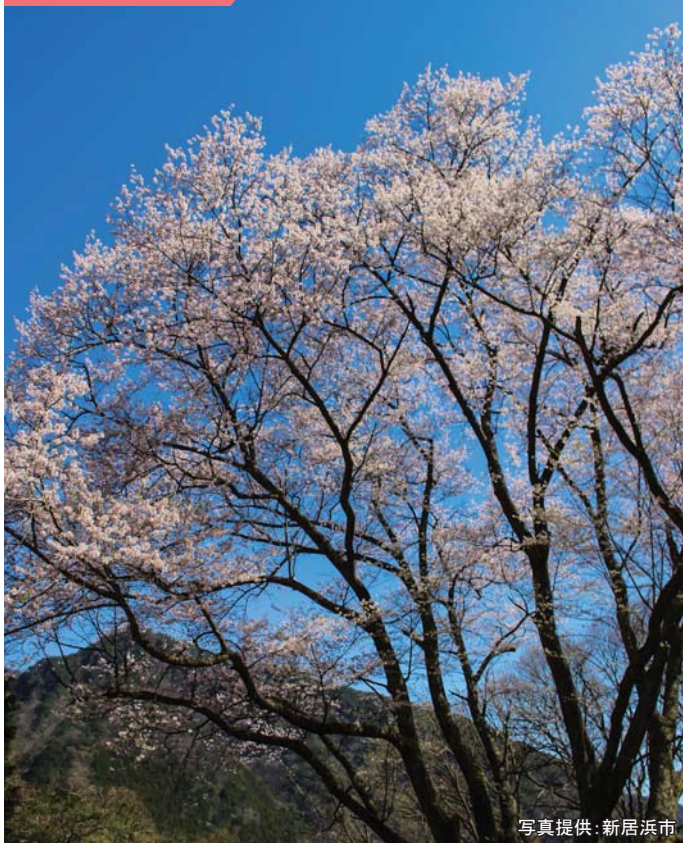
みなみおがわ

南小川沿い 八重桜

春のよさく(国道439号)を八重桜が彩る花街道。国道32号分岐から国道439号に入り車で2分ほど進んだ国道沿いに八重桜の絶景スポットがあります。国道439号沿いは八重桜が見事に彩りを見せ、花街道となって来る人を迎えてくれます。開花時期がヤマザクラやソメイヨシノよりも1～2週間ほど遅く、開花を長く楽しめるのも特徴となっています。近くには吉野川の支流、南小川が流れており、山々から流れ出た水はどれも綺麗で澄み渡っており、川の流れを見ていると疲れた心も水と一緒に洗い流してくれます。

▶住所／高知県長岡郡大豊町粟生 ▶アクセス／高知自動車道大豊ICから車で約20分。国道32号分岐から国道439号に入り車で約2分、定福寺下。(駐車場はないが、国道439号沿い待避所に停車可能な場所もあります。)またはJR土讃線の豊永駅から徒歩約30分。

4月上旬～4月中旬



写真提供：新居浜市

新居浜市

べっしやま

別子山エドヒガンザクラ

別子山エドヒガンザクラは、別子山森林公園ゆらぎの森のほど近くにあります。4月上旬から中旬にかけて見頃を迎えます。晴れた日には、青空と桜の鮮やかな色のコントラストを満喫できます。

▶住所／愛媛県新居浜市別子山大野 ▶アクセス／新居浜方面から：県道6号別子小中学校先の天皇橋より車で10分。四国中央市方面から：県道6号東宮橋より車で8分。またはJR予讃線の伊予土居駅から車で約1時間20分。(駐車場あり。駐車場内にトイレあり。)

3月下旬～4月上旬



写真提供：三好市

三好市

さくらがおか 桜ヶ丘公園

徳島自動車道近くの高台にある公園で、約1100本の桜が園内道路両側に植えられている。桜の種類は豊富で、四季を通じて様々な桜の花を觀賞することができます。公園からの眺めが良いため、吉野川や周辺の田園地帯を一望できます。

▶住所／徳島県三好市井川町西井川1359番地1 ▶アクセス／JR土讃線の佃駅から徒歩約20分。(駐車場なし。)

3月下旬～4月上旬



写真提供：土佐町

土佐町

さめうら 早明浦ダム

早明浦ダム及びダム湖周辺では約2000本の桜が咲き、見頃を迎える3月下旬から4月の初めにはたくさんのお花見客で賑わいます。競い合うように咲く美しい桜の景色を眺めながら、ダム湖畔沿いの道路ではサイクリングも楽しむことができます。

▶住所／高知県土佐郡土佐町井6591番地5 ▶アクセス／高知自動車道大豊ICから車で約25分。国道439号を經由し県道17号へ。またはJR土讃線の大杉駅から車で約25分。(早明浦ダム直下桜並木の入口に数台と、吉野クライミングセンターに駐車可能。)

4月上旬～4月中旬



写真提供: 四国中央市

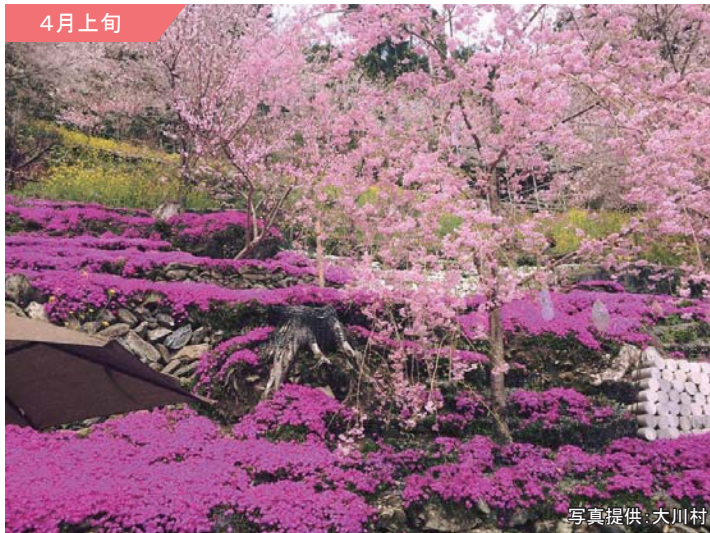
四国中央市

きんしや 金砂湖畔公園

四国山地と法皇山脈の間にある金砂湖に隣接した公園で、春には湖に架かる深紅の平野橋と桜による見事なコントラストを楽しむことできる。また、公園内では釣りやキャンプなどのアウトドアも楽しめます。

▶住所／愛媛県四国中央市金砂町平野山232 ▶アクセス／松山自動車道三島川之江ICから国道11号を経由し国道319号へ。三島川之江ICから車で約30分。またはJR予讃線の伊予三島駅から車で約25分。(駐車場50台あり。)

4月上旬



写真提供: 大川村

大川村

おおひら 大川村大平地区

県道17号から村道小北川線に入ってすぐの大川村大平地区に咲く桜は村内でも特に美しく咲き乱れる春の名所です。この時期は毎年、地区住民によるイベントも開催されており、賑やかな春のひと時を楽しめます。

▶住所／高知県土佐郡大川村大平 ▶アクセス／高知自動車道大豊ICから国道439号を西進し、県道265号を経由し県道17号へ。大豊ICから車で約1時間30分。またはJR土讃線の大杉駅から車で約1時間35分。

4月上旬



写真提供: 本山町

本山町

うえまち 上街公園

本山町の「町の花」は桜となっており、4月上旬には町内各地で満開の桜を楽しむことができます。中でも市街地にある上街公園は桜の名所として多くの花見・観光客で賑わいます。この公園は戦国時代にこの地を治めた土佐戦国七雄の一人、本山氏の土居(館)とされており、近世初頭には山内刑部・但馬父子、野中玄番・兼山父子と4代にわたる屋敷となっていました。その後、参勤交代道北山越の際には『本山御殿』として藩主の宿泊所に利用されました。建物は現存していませんが、小山状の地に築かれた石垣に当時の面影を偲ぶことができます。

▶住所／高知県長岡郡本山町本山377-2 ▶アクセス／高知自動車道大豊ICから国道439号を本山町方面へ西進。大豊ICから車で約20分。またはJR土讃線の大杉駅から車で約25分。

4月上旬



写真提供: いの町

いの町

道の駅 木の香

高知と愛媛をつなぐ国道194号沿い、道の駅「木の香」の横に咲き誇る桜は吉野川の源流にあたる桑瀬川の澄んだ青、石鎚山系の深い緑と美しいコントラストを作り上げます。併設されているレストランや温泉で心や体を癒しながら眺める桜もまた格別です。

▶住所／高知県吾川郡いの町桑瀬225-16 ▶アクセス／高知自動車道伊野ICから国道33号を経由し、国道194号を愛媛方面へ車で約1時間20分。またはJR土讃線の伊野駅から車で約1時間5分。(道の駅 木の香駐車場91台あり。)

桜スポットMAP



今回ご紹介した以外にも桜のおすすめスポットはまだたくさんあります。ぜひ家族や友だちと誘い合って、美しい桜の下、おしゃべりにも花を咲かせませんか♪

池田ダムの紹介

池田ダム上空写真



所在地	徳島県三好市池田町ウエノと徳島県三好市池田町西山にまたがり、JR阿波池田駅から徒歩で約30分、徳島自動車道井川池田ICから車で約5分の場所にあります。
大きさ	総貯水容量:1,265万 ³ 堤高:24m 堤頂長:247m
完成年	1975(昭和50)年3月
目的	洪水調節／流水の正常な機能の維持／ 農業・水道・工業用水／発電 吉野川総合開発計画のなかめとして、洪水調節、低水流量の調整、吉野川北岸用水ならびに香川用水に必要な取水位の確保及び発電を行っています。
ダムカード配布場所	独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所 住所:徳島県三好市池田町西山谷尻4235-1 TEL:0883-72-2050 配布時間:8:30～17:00(土・日・祝日含む) 休日は管理所玄関のインターホンを押してください。

ダムカードサンプル



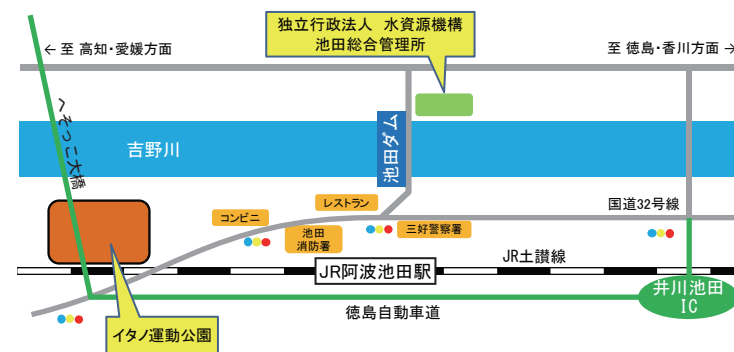
流木チップの配布の様子



トラックでお越しいただいた方には、バックホウで流木チップを積み込みます。各自で手積みも可能です。

流木チップの配布

水資源機構 池田総合管理所では、出水などにより池田ダムに漂着した流木を、チップや薪に加工して無料配布しています。平成30年は、イタノ運動公園において、4月下旬にチップを配布する予定です。配布日時等の詳細については、三好市報及び水資源機構池田総合管理所ホームページでお知らせします。



《吉野川みずべ情報誌「川活」とは》

吉野川は、日常生活や産業のための水供給、水力発電等の面で、四国4県を支える大きな力となっています。情報誌「川活」は、レジャー、産業、文化、歴史、また川で活躍する方たちを紹介し、水源地域を含む吉野川流域の活性化の一助になるよう発行しているものです。皆様からも、ダムや川に関連する活発なご意見をお寄せいただければ幸いです。

[発刊]

●国土交通省 四国地方整備局 吉野川ダム統管理事務所
TEL 0883-72-3000 FAX 0883-76-0301



吉野川ダム統管理事務所
ホームページ
<http://www.skr.mlit.go.jp/yoshino/>

●独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所
TEL 0883-72-2050 FAX 0883-72-6376



池田総合管理所
ホームページ
<http://www.water.go.jp/yoshino/ikedai/>

《住所》〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻4235-1 (1~2F 吉野川ダム統管理事務所 3F 池田総合管理所)